

023	誕生祝い 改まった文例
<p>謹啓 桜花爛漫と咲き誇るみぎり、貴家ご一同様にはいよいよ清福の御事と拝察し、大慶に存じ上げます。</p> <p>さて、この度ご令息紀和様には、めでたく十歳のお誕生を迎えられる由、誠にご同慶の至りに存じます。</p> <p>お生れになつて十度の春の間、すこぶるご健康で、学業においても優秀であることは、ご両親のご愛情とご薫育の賜と、改めて敬服する次第です。行く末も紀和様のご健康で、さらに一層ご才気を発揮されることを、僭越ながらご祈念申し上げます。</p> <p>心ばかりのお祝いの品を、本日別便に託しました。お納めいただければ幸甚に存じます。</p> <p>まずは略儀ながら寸書にて、お祝いのみ申し述べます。謹言</p>	